

平和を学び，考え，発信しよう！

ふくやまピース・ラボ事業

2023年度活動報告集



「ふくやまピース・ラボ」とは？

戦争を知らない若い世代が、福山空襲や原爆について学習し、平和について考え、活動を通して平和へのメッセージを発信することを目的に活動しています。2023年度（令和5年度）で発足から9年目を迎えました。



2015



2017



2019



2021



2016



2018



2020



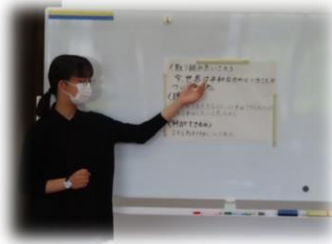
2022

1年間の活動記録

2023年	5月28日(日)	開講式, オリエンテーション
	6月 4日(日)	講義「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」 「原爆の絵」ギャラリートーク参加
	6月18日(日)	フィールドワーク「市内戦争遺跡巡り」
	7月 9日(日)	講義「福山空襲～8月8日に体験したこと～」
	7月23日(日)	「第69回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に向けて
	8月 5日(土)	「ヒロシマ青少年平和の集い」参加(広島市内)
	8月 8日(火)	「2023市民平和のつどい・第69回市民平和大会」参加 「第69回原爆・福山戦災死没者慰霊式」参列
	8月20日(日)	講義「被爆体験 親子の別れ」
	9月10日(日)	「ピースウォーク」実施に向けて①
	9月23日(土)	「ピースウォーク」実施に向けて②
	10月 8日(日)	「ピースウォーク」実施に向けて③
	10月22日(日)	「ピースウォーク」実施に向けて④
	10月29日(日)	「ピースウォーク」実施に向けて⑤
	11月 5日(日)	「ピースウォーク」実施
	11月19日(日)	「2023ふくやま 人権・平和フェスタ」に向けて①
	12月 3日(日)	「2023ふくやま 人権・平和フェスタ」に向けて②
	12月 9日(土)	「2023ふくやま 人権・平和フェスタ」に向けて③
12月10日(日)	「2023ふくやま 人権・平和フェスタ」参加	
12月17日(日)	「ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」参加	
2024年	1月21日(日)	1年間の活動を振り返って「ピースアート2023」の制作①
	2月 4日(日)	1年間の活動を振り返って「ピースアート2023」の制作②
	2月25日(日)	1年間の活動を振り返って「ピースアート2023」の制作③
	3月10日(日)	修了式

活動報告（全23回）

第1回（5.28）開講式／オリエンテーション



「平和について学び、考え、発信していこう！」と、新メンバーが加わり、ふくやまピース・ラボ9年目の活動がスタートしました！

メンバーそれぞれが、「ふくやまピース・ラボの活動で取り組みたいこと」や「平和のために私たちができること」について考え、発表しました。

■これからの活動で取り組みたいこと

- ・ボランティアに参加したい。
- ・福山空襲や平和についてもっと学びたい。
- ・学んだことを若者に発信する活動をしたい。

第2回（6.4）講義「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」



▶ 講師：北村 剛志さん
（元人権平和資料館副館長）

福山空襲の実相や戦時中の生活の様子（食糧不足、配給、学徒動員、学童集団疎開、服装）などを、当時の写真を用いながら分かりやすく説明していただきました。

《感想》

- ・「今のウクライナの状況と当時の状況が似ている」ということが心に残った。
- ・平和な世の中にするために平和の大切さを訴え続けようと思った。

「原爆の絵」ギャラリートーク参加

4月～6月に開催した企画展『「原爆の絵」複製画展』のギャラリートークに参加しました。「原爆の絵」の制作に至った経緯や証言者から話を聞きながら制作に取り組んだことなど、作品を見ながらお話しいただきました。



▶ 講師：橋本 一貫さん
（元広島市立基町高校教諭）



▶ 講師(制作者)：大迫 美晴さん
（広島市立基町高校卒業生）

《感想》

- ・描かれている男の子の何とも言えない表情を見てすごく辛かった。
- ・「原爆の絵」を通して、原爆は絶対に使用してはならないと強く思った。
- ・より原爆についての関心が深まり、知らない世代に伝えていきたいと思った。

第3回（6.18）フィールドワーク「市内戦争遺跡巡り」

福山市人権平和資料館において、福山空襲の概要について説明を受けた後、福山城公園内の現在も残っている戦争遺跡を巡りました。この街で起きた悲惨な空襲のことを学び、感じることができました。

《感想》

- ・いろいろな遺跡を見て、悲惨な戦争がなくなってほしいと強く思った。
- ・福山城の石垣の色が変わっていて、焼けたらこんなに変わるんだと思った。



第4回（7.9） 講義「福山空襲～8月8日に体験したこと～」

防空壕へ逃げ込んだ時の様子や翌日の市街の様子など、福山空襲の体験や戦前、戦中、戦後の暮らしなどについて、話をいただきました。

《感想》

- ・焼夷弾が落ちてきた後の「私たちは生きていたんだなあ、ありがたい」という言葉が印象に残った。
- ・「人との心のふれあい」を大切にしようと思った。
- ・贅沢ができず、苦しい中でも工夫して生活をしていたことが分かった。



▶ 講師：森近 静子さん
（ふくやまピース・ナビ会員）

第5回（7.23）「第69回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に向けて



8月8日（火）17時30分から中央公園で行われる「原爆・福山戦災死没者慰霊式」で、昨年に引き続きふくやまピース・ラボのメンバーが「追悼のことば」を述べることになりました。

当日に向けて、メンバーそれぞれが、平和への思いや願いを込めたメッセージを考えました。

第6回（8.5）「ヒロシマ青少年平和の集い」参加

広島市で行われた「ヒロシマ青少年平和の集い」に参加し平和学習を行いました。広島市で活動する、中・高校生ピースクラブのメンバーによる原爆被害の概要説明を受けた後、全国から集まった同世代のみんなとディスカッションを行いました。平和のために学び、行動している同世代のみんなの意見を聞き、より深く平和について考えることができました。

午前中は、被爆建物や広島平和記念資料館などを見学し、原爆の恐ろしさ、被爆の惨状を学びました。



第7回（8.8）「2023市民平和のつどい・第69回市民平和大会」ボランティア参加 「第69回原爆・福山戦災死没者慰霊式」参列

2023年8月8日、1945年8月8日の「福山空襲」から78年を迎えました。

世界の平和と人権の尊さについて考えることを目的に開催されている「2023市民平和のつどい・第69回市民平和大会」に運営ボランティアとして参加しました。

また、「第69回原爆・福山戦災死没者慰霊式」に参列し、ふくやまピース・ラボを代表して3人が「追悼のことば」を述べました。

「今もなお、世界では戦争や紛争が起こっています。何の罪もない人たちが、命の危機にさらされ苦しめられています。戦争を経験された方の「自分たちのような辛い思いをする人を二度と出してはならない」という言葉に込められた思いを受け継ぎ、未来のために行動することが、私たちの使命だと思います。一人はダメでも、世界中の人たちが同じ目標を掲げ、行動を起せば、必ず世界は変わっていくはずです。」と、メンバーそれぞれの熱い思いをまっすぐ伝えることができました。

その後、折り鶴献納と献花を行い、平和への誓いを新たにしました。



同日、エフエムふくやまのラジオ番組にも出演しました！ふくやまピース・ラボの活動や当日参加する活動についてお話ししました。

第8回 (8.20) 講義「被爆体験 親子の別れ」

1945年8月6日、広島市で被爆した時の様子や、当時5歳の廣中さんとお父さんの別れについてお話していただきました。

《感想》

- ・とても貴重なお話をしていただき、同世代の人たちに広めていきたいと思った。
- ・原子爆弾は、何があっても絶対に使ってはいけない、戦争は絶対にしてはいけないと改めて思った。



▶ 講師: 廣中 正樹さん
(広島平和文化センター 被爆体験証言者)

第9回・第10回・第11回・第12回・第13回 (9.10 / 9.23 / 10.8 / 10.22 / 10.29)

「ピースウォーク」実施に向けて

福山城公園やその周辺に残る戦争遺跡を歩いて巡り、福山空襲などについて理解を深めてもらうことを目的に開催する「ピースウォーク」に向けて準備を行いました。

本番に向け、役割分担を行い、マップの作成や参加記念品づくりなどの準備を進めました。自分が説明する戦争遺跡の説明原稿を考え、事前に戦争遺跡を巡り、当日参加して下さるみなさんにしっかり伝えられるよう練習に取り組みました。



第14回 (11.5) 「ピースウォーク」実施

今年は、9人の参加がありました。これまで学んできた福山空襲について、参加者のみなさんと戦争遺跡を歩いて巡りながら、メンバー自身で説明することができました。福山に今なお残る戦争遺跡を知ってもらい、平和の大切さについて考えてもらうとともに、私たちの活動についても知ってもらうことができました！

《参加者の感想》

- ・福山空襲の現状を初めて詳しく知る機会になった。今後の活躍を期待している。



▼ マップの説明

▼ 福山空襲の概要

▼ 高野山福山別院

▼ 福山城石垣

▼ 福山城天守閣石垣



▼ 安部和助別邸

▼ 防空壕跡

▼ 備後護国神社

▼ 慰霊碑

▼ 記念品渡し



第15回・第16回・第17回 「2023ふくやま 人権・平和フェスタ」に向けて (11.19/12.3 / 12.9)



今年も「ふくやま 人権・平和フェスタ」に参加し、ステージ発表と模擬店の出店を行いました。第15回から第17回は、本番に向けて、ステージ発表の練習と模擬店の準備を行いました。

第18回 (12.10) 「2023ふくやま 人権・平和フェスタ」参加

午前中は1階ロビーで『ピースコーン』(ポップコーン)の模擬店を出店し、みんなで協力して『ピースコーン』作りと販売を行いました。多くの方のご協力のおかげで完売した『ピースコーン』の収益金は、「ユニセフ」に寄付することができました。

そして、正午頃からのステージ発表に向けて、本番直前まで練習や確認を行いました。ステージ発表では、被爆者西岡誠吾さんの『少年・十三歳の原爆体験記』の朗読を、心を込めて行い、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを発信しました。



第19回 ユニセフ「ハンド・イン・ハンド募金」 (12.17) ボランティア参加

広島県ユニセフ協会の「ハンド・イン・ハンド募金」に参加しました。世界には、安全な水を飲めない人が約20億人もいます。約4人に1人が自宅で安全に管理された飲み水を得ることができません。今、支援を必要とする子どもたちのために、支援を呼びかけました。

皆さんの、たくさんのご協力、ありがとうございました！



第20回・第21回・第22回 1年間の活動を振り返って (2024.1.21/2.4/2.25) ~「ピースアート2023」の制作~

わたしたち「2023ふくやまピース・ラボ」の1年間の活動の様子を記録した写真と平和へのメッセージ写真を組み合わせピースアートを制作しました。ピースアートのデザインは、メンバーそれぞれが考えたものの中から投票で決定しました。わたしたちの活動を多くの方に知ってもらおうと心を込めて制作しました。

完成したピースアートは、今年も「まなびの館ローズコム」のエントランスホールに展示しています。

〈展示期間〉2024年3月22日(金曜日)～5月17日(金曜日)



ふくやま平和カルタ大会

第20回では、ふくやまピース・ナビのみなさんと「ふくやま平和カルタ大会」も行いました！

「ふくやま平和カルタ」は、ふくやまピース・ナビのみなさんが、福山空襲をはじめとする貴重な戦争体験を次代を担う子どもたちに伝えていくため、戦中・戦後の福山市民の生活を「カルタ」にまとめたものです。

《感想》

・楽しみながら戦争のことについて学ぶことができ、冊子には詳しい解説が載っていたので新しいことを学ぶことができた。



第23回 (3.10) 修了式

福山市人権平和資料館の渡邊館長から、メンバー全員に参加証書の授与を行いました。メンバーは活動を終えての感想を発表しました。

《感想》

・戦争のことについて何となく知ってはいたが、知らないことが多かった。ふくやまピース・ラボの活動を通してもっと学んでいきたい。

・ふくやまピース・ラボに続けて参加しているが、毎年学ぶことがある。学んだことを同世代に発信していけるようこれからも考えていきたい。



2023ふくやまピース・ラボの活動を終えて

谷口 結萌（高校2年生）

私は、ピース・ラボに参加して今年で5年目でしたが、毎年参加するたびに新たに学ぶことができ、改めて平和の尊さを感じることができました。極めて印象に残っている活動は、「ピースウォーク」と「ふくやま 人権・平和フェスタ」です。私自身が学んだ貴重な体験を多くの方に発信することができた活動だったからだと思います。私たちが発信していく上での課題は、若い世代の人に伝えることだと考えます。私たちの世代から伝える活動を、これからも多くの方に進めていきたいと思っています。これからもっと被爆者の方の高齢化が進んでいくので、毎回の活動を、さらに大切にしていきたいです。

矢野 結乙（大学1年生）

ピース・ラボでの活動は、今年で4年目になりました。福山空襲での体験者さんからのお話や空襲の爪痕を自分の目で見た際の衝撃、辛さなどが今世界で起きていると思うととても辛いです。高校生の時から、貴重な実際の体験談の聴取、様々な県の方々との交流や被爆建物の見学などの活動を行ってきました。これらの活動を生かして戦争を知らない世代に伝える活動や、福山以外についても戦争や空襲のことについて学ぶことを大切にしていきたいと思いました。

檀上 美蘭（高校2年生）

私は8月に、昨年はコロナ禍で参加できなかった「ヒロシマ青少年平和の集い」に参加できたことが印象に残っています。全国で平和活動をしている同年代の人たちと会って、様々なテーマでグループワークをしたことで、自分にはない考えを新たに取り入れるきっかけとなりました。その他にも福山駅で「ユニセフ街頭募金」に参加したり、「ふくやま 人権・平和フェスタ」で朗読をしたりと、どの活動も楽しく行うことができました。これからも、多くの人と平和の尊さや戦争の悲惨さについて話し合い、平和のために活動していきたいです。

松脇 汐音（高校2年生）

今年度は、世界で戦争が丸1年間続いた年でした。今も続いているにも関わらずテレビでは完全にスルー状態になっています。核の使用が日本におきてもおかしくない今、そのようなことが起こっても良いのでしょうか。戦争がなくなることが平和とも言えますが、まず核の恐ろしさを知り、周りのちょっとした平和や幸せを大切にすることがどれだけ大切なものなのか1年間を通して学ぶことができました。活動もあと1年間となりましたが、ピース・ラボで学んだ6年間のことを無駄にすることなく、発信し続けようと強く思いました。

北村 桃子（高校2年生）

私はふくやまピース・ラボの活動を通じて、どうすれば若い世代の人に戦争について知ってもらえるかと考えることが増えました。ロシアとウクライナの戦争に関する報道は日を追うごとに少なくなり、今もたくさんの人々が戦争のせいで亡くなっているという事実を忘れてしまいそうになりますが、今後も世界にも視野を広げて平和について学んでいきたいと思いました。

吉田 玲衣奈（中学校3年生）

私が今年ふくやまピース・ラボに参加して学んだことは、発信する重要さです。私は活動に参加して2年目になります。去年は新型コロナウイルスの影響で行事への参加を控えていました。しかし、今年は「ふくやま 人権・平和フェスタ」などいろいろな行事に参加することができ、そこで平和やこれからの私たちの役割について発信することができました。学び、それを他の人へ伝えていく大切さを改めて感じました。私のこれからの目標は、もっと多くの人に発信することです。どうすれば平和に興味を持ってもらえるのか、行動を起こしてもらえるのか、考え続けたいです。



金平 怜桜（中学校1年生）

僕は、この1年間ピース・ラボに参加させていただき、たくさんの事を学びました。僕が一番考えさせられた事は、今どれだけ幸せな生活を送らせてもらっているのかという事です。戦争は怖いものだという事は何となくは分かっていましたが、実際に戦争を体験された森近さんから、福山空襲の際、恐ろしい数の焼夷弾が落ち、あちこちで火事が起きたという怖いお話を聞き、平和への願いが強くなりました。一人一人の心の平和が、世界中の願いとなれば、平和な時間が守られるのではないかと、僕は思います。

永戸 あみ（中学校2年生）

私は、福山に住んでいるけど、あまり戦争についての理解が足りていないことに気付くことができました。いろいろな場所に訪れてみて、思っていたよりも知らないことが多くてびっくりしました。今、戦争によって苦しんでいる人がたくさんいます。そうなる人が少なくなるために、私たちが知り広めていくことが大切だと感じることができました。

山田 直衛（中学校1年生）

平和な世の中にするために、平和について深く知り、平和の大切さを訴え続けたいと思います。

佐々木 美空（高校3年生）

福山市民として、悲惨な出来事を後世に伝えていくことが戦争を二度としてはならないということにつながる大切な活動だと思うので、自分ができることを自ら進んで実行していきたいと思っています。

塩出 万陽（中学校1年生）

私は、初めてふくやまピース・ラボに参加しました。今までは戦争というものに興味はあまりなく、平和というものが当たり前という感覚でした。

しかし、私はこのイベントで様々な事にチャレンジしてみて戦争や平和とはなんだろうということを考えさせられました。

これからも、戦争のことについてももっともっと知って自分にできることを探してみたいです。

吉田 絵玲奈（中学校1年生）

私は、今年初めてふくやまピース・ラボに参加させていただきました。私は、福山空襲や第二次世界大戦などの戦争のことについて、「過去」のものとして捉えていました。ですが、実際に戦争を体験された方のお話を聞くことで、すでに平和条約を結んだりした戦争でさえ、今でも完全に終わっているわけではないし、新たな戦争が世界では起こっているのだということを感じることができました。

佃 和佳奈（高校1年生）

今まで、本やテレビで戦争について知ることはありましたが、実際に被爆者の方や戦争の恐さを痛感された方のお話を聞くことができ、平和についてより深く考えることができました。





Peace for all

—世界に平和を—



発行 2024年3月
編集 福山市まちづくり推進部多様性社会推進課
〒720-8501
広島県福山市東桜町3番5号
TEL (084) 928-1235
FAX (084) 928-1229